



楽しい絵手紙



八女市本村(北平塚)

大石 五十二

「孫や知人に絵手紙を出せたら、どんなに楽しいだろうな」と思っていた矢先に、はつらつ絵手紙教室（講師は大坪先生）を知りすぐ申し込みました。

実際描き始めると、なかなか思い通りに表現できませんでした。でも、先生の手ほどきで、みちがえるような絵手紙にうまれかわっていくのを見て、私ももっと勉強して上手になりたいと思っています。

毎日、多忙な生活の中で、ややもすると心を潤すことを無くしています。もつといろんなことや物に感動し、そのことを絵手紙で、多くの人に伝えられたらいいなと思います。教室に通っています。

光友保育所園児との新茶手摘み 八女農業高等学校

4月24日、光友保育所園児23名と橋本所長以下4名の職員、合計27名が本校北山農場お茶園を訪問されました。

本校からは茶葉作物専攻の3年生20名が迎えました。専攻生は園児のみなさんと一緒に新芽を手摘みしました。また製造したばかりの新茶を飲んでいただきました。園児のみなさんは、体全体で楽しいという感情を表現してくれました。専攻生は最初は緊張していましたが、だんだんとうち解けて、園児の実のお兄さんのようにやさしく親切に、交流を深めてくれました。園児のみなさんにとって、かけがえのないすばらしい体験になったと思います。また専攻生にとっても、高校生活における思い出深い体験になりました。

これまでの学習の成果を充分に発揮すると同時に地域貢献にもなり貴重な交流会でした。



6月みらい館の開館日

2日(火)、5日(金)、9日(火)、12日(金)、16日(火)、19日(金)、23日(火)、26日(金)、30日(火) 販売時間は、10時30分～15時30分です。多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。

黄櫨の会
公開講座

聴講無料
どなたもお気軽に
ご来場下さい

演 題 文 章 の 魅 力

講 師 出 田 亮 一 先生 (八女農高教諭)

日 時 6月20日(土) 13:30～

場 所 八女市社会福祉会館

「ほな、またな」そう笑って忙しいスケジュールの中、友人は帰っていった。博多駅に送った帰り道思った。「ええよ」って、わざわざ大阪から墓参りに付き合ってくれた友人は、亡くなった彼ともう一人、私が心配で会いに来てくれたのだなど。心がほっと軽くなった。

森 志穂

こんにちは。
筑後警察署です。

⑪



皆さん、はじめまして。筑後警察署長の柴藤一と申します。

本年3月6日に着任し、以来、筑後市、大川市並びに大木町の二市一町において、住民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちにするため、各種治安対策を進めております。

特に、高齢者の方が被害に遭いやすい二セ電話詐欺被害防止及び交通事故防止を強力に推進しております。

今回は、高齢者対策の一つ、二セ電話詐欺について説明します。

平成26年中の筑後警察署管内における二セ電話詐欺の被害は、合計7件約5,300万円でした。

本年に入り筑後警察署管内での発生はあっていないものの、県下では昨年より2倍のペースで発生し危機的状況にあります。

中でも、二セ電話に騙された高齢者等が、宅配便等を利用して現金を送るといった事案が多発しております。

「宅配便で現金を送ってください。」「必ず儲かります。」等、電話でお金のお話を聞かれた際は、警察署にご相談ください。

筑後警察署では、二セ電話詐欺撲滅に向けて、今後も対策を強化していきますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

今日も元気だ ごはんがうまい

心地よい小鳥のさえずりで目覚め、窓を開けて生まれたばかりの太陽にあいさつ。朝焼けの空に鳥の胸毛のような白い雲が並び、今日の好天を保証している。『晴耕雨読』さあ何をしよう…そんな心豊かな暮らしを何年夢見ているだろう。朝のテーブルに着くと現実が…「鳥たちがさくらんぼを狙っています。食事がすんだらネットを張ってください」早速今日最初の仕事を妻から言い渡される。「鳥だって生きるために食うものも必要だろう」言ってみるが「今度の連休に孫たちがさくらんぼの収穫を楽しみに来る予定です」孫のためなら仕方がない。ルビー色に輝く甘い実を鳥に食われてなるものか、昨日の友は今日の敵という喻えもある。脚立を持ち出し老妻と悪戦苦闘。「こんなことで骨折でもしたら物笑いになるね」言いつつ二時間ほどかかってようやく木全体を覆うことができた。が所詮は素人の泥縄作業、朝茶を飲んでる間に鳥たちは何事もなかったかの如く網を通り抜けて侵入している。こちらは一時の思いつき、相手は生きるための食べもの探し。覚悟が違う。我々はこれを食べなくても飢えることはない。ならばまず鳥たちに譲って、おすそわけを頂こう。分け前が少ないのは孫たちも分かってくれるだろう。とんだ骨折り損のくたびれ儲けと思っていると「昼からキュウリとニガゴウリの棚を作るとよ」次の指令が出る。憧れのセカンドライフは当分おあづけ。(はるお)

矢部川源流・杉の里の四季

(44)

ムラサキケマン(紫華鬘)[ケシ科]

花期4～6月で、木陰などあまり直射日光の当たらない場所に生育する。花の形態をケマンソウや仏殿に飾る仏具「華鬘(ケマン)」に見立ててこの名がつけられている。

全草に毒(プロトピン)を含む有毒植物、誤食すれば嘔吐・呼吸麻痺・心臓麻痺などを引き起こすといわれ、決して食べてはいけない野草である。

(黒木町) 松尾 重根



眩き

お墓参り

同窓生の命日、お墓参りに大阪の友人を誘った。「ええよ」。仕事の日程を調節して遥々新幹線で来てくれた。久しぶりに待つ博多駅の改札口。張りつめていた日々の中で、改札口の向こうから歩いてきた友人の顔を見るとホッとした。お墓に向かう道々苦しい事、傷ついた事：今の自分を話すと、「なんやねんそれ」と、友人は笑った。私も笑った。久しぶりにガラガラ笑った。雲一つないその日の空みたいになーんにも考えずに二人で笑った。亡くなった同窓生がいつか夢に出てきて言っていたのを思い出す。「おまえはよく夜道を一人で淋しく歩いているけど、ちゃんと空から見えてやっているからな」。墓の前で友人と手を合わせた時、その言葉の意味がわかった。くじけている私を元気づけようと、こうしてまた私達を引き合わせてくれたのだ。亡くなる前も、その同窓生の最後に会った友人は私達二人だった。その時のお見舞いといい、今回の墓参りといい、私の状況を見透かされているかのようになにに私は亡くなった同窓生から慰められている。

「ほな、またな」そう笑って忙しいスケジュールの中、友人は帰っていった。博多駅に送った帰り道思った。「ええよ」って、わざわざ大阪から墓参りに付き合ってくれた友人は、亡くなった彼ともう一人、私が心配で会いに来てくれたのだなど。心がほっと軽くなった。

森 志穂